



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
発行責任者 横地常広
編集責任者 深澤恵治

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

P1 新年のご挨拶

P2 日臨技支部医学検査学会開催報告（4）【近畿支部】

P3 令和6年度医療安全管理者養成講習会（アドバンスコース）開催報告

P4～P6 全国「検査と健康展」2024 各地からの報告 第1回

P6 令和6年度臨床検査技師のための臨床研究とCRCに関する研修 参加者募集中！

謹んで新年のお慶びを申し上げます



✧ 平素より、日本臨床衛生検査技師会の事業活動に対し、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

我が国では社会構造の変化により、これまでに経験したことのない社会が訪れようとしています。我々、臨床検査技師を取り巻く環境も大きく変わろうとしており、医療機関における検査室のあり方、臨床検査技師の働き方改革が求められています。

このように社会情勢、医療環境が変化していく中で、当会が進める事業の方向性や事業運営の意図を理解していただくため、「会員とともに考え、会員とともに挑む」をスローガンに、一人でも多くの会員に向けて伝える努力を惜しまず、会務の遂行に努めて参ります。

本年も昨年同様に温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年 元旦

代表理事会長 横地 常広

※1月中旬送付のJAMTマガジン1月号に年頭所感を掲載しています。
是非、そちらもご一読ください。

日臨技支部医学検査学会開催報告(4)

2024年度 近畿支部医学検査学会

未来共創 ～ 次世代とともに ～

学会長 増田 詩織



文化講演1 医療従事者が押さえておくべき防災の知識



学生フォーラム 臨床検査技師の未来

令和6年度の日臨技近畿支部医学検査学会（第63回）は、2024年11月3日から4日に大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）にて現地参加形式で開催され、1,450名ものご参加をいただき盛況のうちに終了しました。本学会では「未来共創 ～ 次世代とともに～」をテーマに掲げ、次世代医療や検査技術の展望に関する議論や研究発表が行われました。また、「第65回日本臨床検査医学会近畿支部総会」および「第43回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会」も同時開催され、多彩なプログラムが展開されました。

一般演題は103演題が応募され、期間延長を必要とせず締切を迎えることができました。文化講演では、蓬萊大介氏（読売テレビ）による「防災の知識」、伊藤隆臣氏（海遊館）による「水族館海獣類の臨床」のご講演を賜り、幅広い視点からの学びがありました。また、学会長講演として私より「未来共創」をテーマに、横地常広日臨技会長からは基調講演「医療DX」が行われ、時代背景や社会変化への対応を通じた新たな挑戦について共有しました。さらに、西田直生志先生（近畿大学）による特別講演「AIによる近未来の超音波診療」では、画像検査の未来について貴重な知見を伺いました。

学術部各部門から学会テーマに沿ったシンポジウム10企画と教育講演8企画が開催され、各セッションで熱心な発表と討論が行われました。各分野で注目される検査や関連病態の基礎、検査の重要性、人材育成、コロナ感染症の振り返りとその後の感染対策や機器活用など、これからの臨床検査の展望をテーマにした内

容でした。教育講演は、ISO15189、遺伝子パネル検査、次世代病理検査などの新しい話題や自己免疫性溶血性貧血、薬剤性腎障害、ICTとAST、再検査、生理検査の独り立ちなどのテーマでもご講演がありました。

日臨技企画として「広報活動」と「学生フォーラム」、大臨技若手企画の「臨地実習」と「検査室外での活動」をテーマにした2企画、日本臨床化学会コラボ企画は「異常データの対応方法」、近畿支部恒例の3団体合同Reversed CPCも開催して、盛りだくさんの学会でした。「中高生進路支援ガイダンス」にも21名の中高生とそのご家族の参加がありました。

今回の学会開催には、上田一仁実行委員長、梶勝史事務局長をはじめ、大臨技理事と大臨技の学術部・組織部・渉外部の委員、大臨技医学検査学会実行委員経験者の若手委員の皆様のお力添えがありました。「明るい未来を共に創る」機会をご準備いただいたことに改めて感謝申し上げます。聴講した人だけしかわからないと思いますが、皆さん海遊館の海獣のようにトントんとするとすぐ元気になるので頼もしい限りです（笑）。今後の支部活動の益々の発展とご活躍を祈念いたします。

令和6年度 医療安全管理者養成講習会(アドバンスコース)開催報告

令和6年度 医療安全管理者養成講習会(アドバンスコース)は、平成30年度～令和2年度に医療安全管理者養成講習会(基本コース)を受講した方を対象として開催しました。テーマを「医療安全管理技術のスキルアップ」とし、医療現場における安全管理の現状について情報共有し、より実践的な医療安全管理手法の活用方法を学びました。

本年度も昨年度同様にオンデマンド配信の受講、ライブ配信と現地開催への参加を修了の条件としています。令和6年12月6日(金)に行われた現地開催の感想を紹介いたします。

鈴木美穂(安城更生病院)

医療安全管理者養成コース(アドバンスコース)は、すでに医療安全管理者を取得した方を対象に、知識向上と資格更新のために開催される講習会です。現地開催ではヒューマンエラー事象の分析手法の一つである「ImSAFER」を用いて1グループ5名でグループワークを4時間行いました。4時間と聞くと長いように感じますが、実際に作業を行うと時間が足らず、リーダーの声掛けのもと、チームで協力をして何とか時間内にやり切ったという印象です。参加者全員が同じ講習を受けているため、「意見を否定しない」「お互いを尊重する」などの基本事項が遵守されており、和気あいあいとした雰囲気、勉強ではありますが非常に楽しい時間を過ごすことができました。実際の現場では、ミスをした本人は「責められる」「怒られる」といったネガティブな気持ちのことが多く、周りもミスが起こったことで動揺していたり、怒っていたりと、どちらかというとき殺伐とした雰囲気のことが多いかと思います。そういった現場であっても、事例分析は犯人探しではなく、改善策を見出すための場であることを理解してもらい、意見交換がスムーズにできる雰囲気づくりをすることも医療安全管理者としての役割なのかなと感じました。今回の研修内容を業務に活かし、よりよい職場環境を作っていきたいです。

高平 雅和(同愛記念病院)

2015年4月、管理職になったと同時に検査科の医療安全責任者となり、科内の医療安全に取り組むようになりました。日々のインシデント対策の検討や院内の医療安全推進部会での色々な取り組みを行う中で、自身の医療安全に対する知識のなさを痛感し、2018年11月に医療安全管理者養成講習会(基本コース)を受講しました。その後は講習会で学んだことを活かし、インシデント対策でも事例分析を取り入れるなど、院内の医療安全にも積極的に取り組みました。さらに月一回の科内の医療安全検討会では、原因分析や再発防止策の検討、情報共有を行ってきました。そのためか、大きなインシデントはかなり少なくなっていたように思います。それでも日々取り組む中で、「分析の効果はあるのか?」「正しい分析、対策の提案ができているのか?」という不安がなくなることはありませんでした。

そんな折に更新(アドバンスコース受講)の案内が



現地開催の様子

届き、2024年12月の講習会を受講することに決めました。ベーシック(基本)コースの振り返りから一歩進んだ事例の分析まで、講師の春日先生には講習や分析のグループワークを通してわかりやすく教えていただきました。少人数だったこともあり、より先生と接する機会が多く内容の濃い講習会だったように感じました。不安が一掃されたわけではありませんが、再度講習を受講することで今まで点と点だった知識の一部が、線で繋がり大いに理解が深まったことが実感できました。また現場に戻り科内・院内の医療安全に取り組んでいこうと思います。春日先生が講義でおっしゃっていたように、定期的に講習会に参加することの必要性も感じましたので、今後は定期的な受講も考えて取り組んでいく予定です。

また、今回のアドバンスコースの受講でもう一つ実感したのが、医療安全講習会受講者どうしでのワーキングと、いつも院内で行っているワーキングの違いでした。院内では講習会受講者は多くありません。そのためグループで何かを進めていくときも一部の人間の意見だけで進むことが多く、片寄った意見になり、対策の提案なども多くは出てきません。今回の講習会では、普段自分が考えないような対策も聞くことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。今後は院内の医療安全に自分が取り組むだけでなく、院内にほかの受講者を増やしていければと考えています。

全国「検査と健康展」2024 各地からの報告 第1回

北海道

令和6年9月16日（月）、3連休最終日に全国「検査と健康展」を札幌臨床検査技師会、北海道細胞検査士会にご協力いただき、札幌駅前通地下広場「チ・カ・ホ」にて開催しました。昨年はコロナ5類移行後間もない開催ということで規模縮小にて開催しましたが、今年はコロナ前同様の広い会場にてフルオープンでの開催とし、非常に多くの方にご来場いただきました。

健康チェックも昨年よりも項目を増やし、血圧測定、血糖測定、体組成測定、肺年齢検査、血管年齢検査、視野検査、物忘れ相談プログラム、医師による健康相談を実施し、全てのブースで行列ができる大盛況となりました。ブースによっては3時間で200名を超え、市民の皆様の健康に対する意識の高さに非常に驚きました。

当会は例年通り物忘れ相談プログラムを担当し、機器を3台に増やしての対応としました。物忘れ検査については、結果が悪かったらどうしようと不安で体験を敬遠される方もいらっしゃいますが、それでも例年よりも多くの方に体験いただくことができ、認知症予防に対する意識向上に寄与できたのではと思います。

また、会場内では、がん撲滅に関する展示や、臨床検査技師紹介動画をスクリーンに映したり、中高生向けの進学相談コーナーの設置など、臨床検査技師の仕事についての普及・啓発活動も積極的に行われ一定の効果があったと感じました。

最後に、開催にあたり、ご尽力いただきました実務委員の皆様、ご来場いただきました皆様に感謝と御礼を申し上げます。

（北海道臨床衛生検査技師会 田中 謙次）



塗抹標本・細胞診標本の鏡検体験を市民の方に行ってもらいました。いずれも20名程の市民が体験し、尿試験紙の色の変化に驚くなど、「面白かった」、「勉強になった」などのたくさんの感想をいただきました。また、今年は市内の中学校に本イベントの案内を周知していたため、中学生がこの体験ブースを訪れる機会が多かったように思います。近年、県内の医療機関の多くは、臨床検査技師が慢性的に不足している状況であるため、臨床検査技師を目指し、将来それらの施設で働くきっかけとなれば幸いです。

次年度は、より幅広い年齢層の方に体験ブースに足を運んでもらえるように、広報活動や、臨床検査体験の内容を再考してみようと思います。

（青森県臨床検査技師会 須藤 安史）

岩手県

令和6年度も新型コロナウイルス感染症、インフルエンザやマイコプラズマ肺炎への感染症に留意し、感染対策を行いながらの開催となりました。当日は、若干肌寒さも感じましたが快晴ということもあり、143名もの多くの方にご来場いただくことができました。

今回、展示および体験していただいた内容は、臨床検査紹介パネルをメイン展示として、その他に、「AED体験コーナー」、「エコー体験コーナー」、「PPE着脱体験コーナー」を設置しました。「AED体験コーナー」は、我々、臨床検査技師も医療人としてまた日常生活においても習得が重要であると考え一人でも多くの方に心肺蘇生法を身につけていただくことを目的として設置しました。小さな子にもこの時期から親子で触れることが重要と考えて体験していただきました。恥ずかしがりながらも真剣にAEDキットに触れていました。「エコー体験コーナー」では実際に機械に触れていただき、「身近な食べ物」を観察していただきました。特にフルーツゼリーは全ての参加者が興味津々で、握ったプローブを離さないお子さんもいました。目に見えない中身を自分で画像として抽出できる面白さを体験していただけたと感じています。

当日参加スタッフにおいては日々の業務が忙しい中、臨床検査技師の知名度普及と県民の健康増進のために熱心に頑張ってくださいました。また、快くスタッフを送り出していただいた勤務先の現場の方々にもこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

（岩手県臨床衛生検査技師会 川村 将史）



青森県

去る2024年11月10日（日）に、青森県臨床検査技師会では、2回目の全国「検査と健康展」を開催しました。昨年に引き続き県内のショッピングモールである八戸ショッピングセンターラピア内に、パネル展示と臨床検査体験ブースを設けて、市民の健康意識と臨床検査技師の知名度向上を目指し、本事業を行いました。400部の配布物を配布しましたが、受け取ってもらえるのは比較的年齢層が高い市民であり、若い世代へのアプローチの方策については要検討と思われました。

臨床検査体験ブースでは、尿検査模擬体験、末梢血



宮城県

2024 年 11 月 10 日（日）、イオンモール名取にて「検査と健康展」が開催されました。昨年好評だった小中学生を対象にした「検査体験」を今年も実施しました。内容は以下のとおりです。検査体験コーナー：携帯型超音波検査体験・顕微鏡検査体験・血管年齢検査（指尖脈波計使用）、検査説明・健康相談コーナー：臨床検査専門医による結果説明、臨床検査技師の仕事紹介コーナー：・パネル展示。

今回は親子連れなど90名の方が来場され、関心を持ってくれる子ども達が多く見受けられました。顕微鏡コーナーでは病理組織・細胞診・血液像などを観察し、なかなかその場から離れずに覗きたがるお子さんもいました。超音波検査体験も、疑似検体のフルーツゼリーやおでんの具材にプローブを当ててみては楽しそうにしていました。大人の方からは病院での超音波検査は医師が行っている印象を持たれている方が見受けられ、スタッフから「臨床検査技師が行っていることが多いんですよ」と説明され、良いアピールの機会になったのではないのでしょうか。医師による健康相談では4名の方が利用され、健康診断での指摘項目や既往歴などからの心配事、食事の相談などがなされていたとのことでした。先生は丁寧に利用者の不安を傾聴され、適切なアドバイスをされていました。

アンケートの結果でも、子ども達から「楽しかった」との声が多く、同伴の保護者からも好意的な回答が寄せられました。子供達には白衣を着て記念撮影もでき、嬉しそうに袖を通す子どもがおり、その中から何人か医療や臨床検査に興味を持ってもらえると嬉しい限りです。

（宮城県臨床検査技師会 桃澤 慶子）

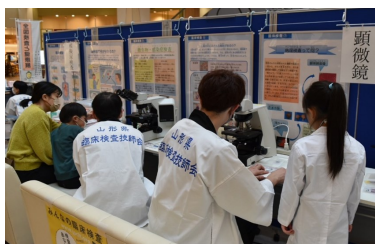


山形県

山形県臨床検査技師会は、全国「検査と健康展」を11月16日（土）にイオンモール三川で開催しました。

内容は、骨密度測定、物忘れ診断、心電計でデモ波形の説明、超音波エコー検査、簡易ヘモグロビン検査、血管年齢検査、顕微鏡で標本の説明、パネル展示他、技師会と臨床検査技師養成学校のパンフレット配布や臨床検査のお仕事を紹介する動画を上映しました。りんしょう犬さんオリジナル風船も用意し、イベントに足を踏み入れるきっかけを作りました。

開催前には、市町村、教育局、会員各施設にお知らせし、広報活動も頑張りました。前年度の反省を踏まえて、今年度は通路エリアで開催しました。開催場所が功を奏し、開始から終了まで来場者が絶えなく、大盛況のイベントとなりました。



子ども用～大人白衣も用意し、なりきり検査技師になって顕微鏡を覗いてもらったり、お父さんやお母さんの血管エコー検査に挑戦してもらい、微笑ましい光景もみられました。将来が楽しみです。

「病院で働いている人ってお医者さんと看護師さんだけだと思ってた！」という声も聞こえ、今回臨床検査技師の認知度UPに貢献できたと思います。来場者もスタッフも非常に楽しめたイベントになりました。

（山形県臨床検査技師会 奥山 馨）

福島県

令和 6 年 10 月 27 日（日）TSUTAYA BOOK STORE AIZUにて「検査と

健康展」2024 in FUKUSHIMAを開催しました。会津地区では初開催となり、65名の方々に参加していただきました。今回は、特に中学生の方々に医療職の一つである臨床検査技師が今後の進路選択の一助になることを願い、事前に近隣の中学校にご案内をさせていただきました。また、一般の皆様方に対しても、日頃から健康に関心を持っていただくため、血圧測定や貧血検査、血管年齢などの検査を行い、その検査結果を基に検査専門医による健康相談を開設いたしました。健康相談には、若い方からご高齢の方々まで36名が参加されました。

今回の「検査と健康展」では、臨床検査技師の検査内容や医療技術者としての役割を、参加された皆様方に微力ではありますが、ご説明させていただきました。頸動脈エコー検査体験やがん細胞を実際に顕微鏡で観察するコーナーでは、特に小学生がエコー画面に興味を持ち、動く画像を不思議そうに見ていました。また、一般の皆様方も今回の企画を通して日々の健康管理に注目していただいたと思います。中学生には事前にご案内をしておりましたが、参加者が少なく残念でした。しかし、今後も中学生には、継続的に臨床検査技師の役割と職業内容を提供して臨床検査技師の魅力を伝えて参りたいと考えております。

（福島県臨床検査技師会 二瓶 憲俊）



栃木県

栃木県臨床検査技師会では、11月10日（日）10時～16時までの6時間「検査と健康展」を開催いたしました。会場となったジョイフル本田 宇都宮店においては日曜日ということもあって非常に多くの方が訪れ、「検査と健康展」のイベントにも240名の来場者がありました。イベントの内容としては、主に小・中・高校生を対象にした臨床検査体験として顕微鏡検査体験と超音波検査体験を実施しました。それぞれ87名、71名の参加があり、お子さんだけでなく多くの方が興味を持って体験していただ



けました。中には臨床検査技師に興味のある学生も訪れ熱心に質問されていきました。また、健康チェック体験として物忘れ相談プログラム、骨密度測定、血管年齢測定を行いました。それぞれ92名、178名、206名が体験を行い、検査を受けるきっかけとなり健康への意識向上に繋がったと思います。その他、臨床検査を知ってもらう目的でパネルの展示やリーフレットの配布、臨床検査クイズを行い盛況のうちにイベントを無事開催することができました。開催にあたりご協力いただいた理事の皆様、寺子屋とちぎの皆様、第1支部の皆様に感謝申し上げます。

(栃木県臨床検査技師会 黒川 敬男)

群馬県

群馬県臨床検査技師会は、11月17日（日）にJR前橋駅前の複合施設アクエル前橋会議室で全国「検査と健康展」を開催しました。県下高校、市内小中学生に呼びかけ、生徒が来場しやすいと思わ



れる会場で企画しました。初めての会場であったため集客など懸念される点もありましたが、高校生を中心に67組140名の方にお越しいただく事ができました。会場では臨床検査技師の業務をより深く知ってもらうため、当日実務委員がポスターやパネル、動画などを使い直接説明しました。また、体験イベントとして尿検査、新型コロナウイルス検査、血液型検査、超音波検査などの疑似体験や衛生教育としてUVランプを使った手洗いチェックを行い、手指洗浄の仕方を学んでもらいました。来場した生徒の中には臨床検査技師を目指している生徒や医療職種の中で選択を迷っている生徒達が訪れ、熱心に話を聞いていました。近隣施設にチラシやポスターの提示をご協力いただいたことで、臨床検査に興味がある一般の方もお越しになり、今回も目的である臨床検査の普及啓発と子ども達の職業選択として臨床検査技師に興味を持ってもらう機会を提供できたと思います。

(群馬県臨床検査技師会 野上 智治)

令和6年度臨床検査技師のための臨床研究とCRCに関する研修 参加者募集中！

本研修は、臨床検査技師の職域拡大とチーム医療の推進を目指し、臨床研究・治験の倫理性、科学性、信頼性を確保するための知識の提供に加え、演習を設けることで最新の専門知識と技能を習得することを主な目的としています。被験者の安全性の確認、結果の評価のためには、臨床研究・治験における臨床検査の実施が必要です。この機会に是非、参加をご検討ください。

テーマ： 臨床検査技師のための臨床研究・治験スキルアップ

～治験と臨床検査技師の役割～

会 期： 令和7年2月16日（日）9時30分～16時00分

会 場： Web 開催（Zoomの利用）

募集人数： 60名

受講料： 日臨技会員3,000円 非会員6,000円（税込）

申込締切： 令和7年1月26日（日）

（定員になり次第、申し込みは締め切ります）

申込方法： 会員の方 会員専用ページからの事前申込をしてください

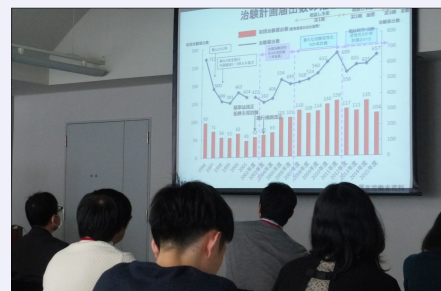
非会員の方 申込書をメールで送付してください

（メールアドレス：gyomuka@jamt.or.jp）

※申込書は当会HPの学会・研修会情報「日臨技主催研修会」からダウンロードできます。

後 援： 日本臨床薬理学会

※日本臨床薬理学会認定CRC制度 認定単位5単位



平成31年度研修の様子
（本年度はWeb開催となります）

（編集後記）2024年元日に起きた能登半島地震からはや1年が経過しました。日本の正月気分を一気に吹き飛ばした地震。日臨技も災害対策本部を設置し、最大限の支援活動を実施しました。いつ何時起きるか分からない災害への対応。日々の備えが必要ですね。まだまだ避難生活を余儀なくされている住民も多く見られます。被災者と被災地に1日も早く平穏な日々が戻ることを祈ります。

（南部）